

令和5年5月22日 定例教育委員会 会議録	
<b>1 開催日時及び場所</b>	
	・令和5年5月22日(月) 14時35分～15時30分
	・1703会議室
<b>2 出席者</b>	
教育長	堀 貴 雄 事務局職員
委員	竹 中 裕 紀 副教育長 富 田 剛
委員	野 原 正 美 参与兼義務教育総括監 香 田 静 夫
委員	村 上 啓 雄 教育次長 中 川 敬 三
委員	市 川 祥 子 (Web) 教育総務課長 関 谷 英 治
委員	打 江 記 代 教育総務課教育主管 秋 場 毅
	教育総務課教育主管 星 野 健
	義務教育課長 青 木 孝 憲
	義務教育課教育主管 山 田 高 秀
	高校教育課長 中 村 有 希
	高校教育課教育主管 石 原 康 秀
	高校教育課教育主管 高 木 岳
	特別支援教育課長 高 井 深 雪
	特別支援教育課管理監 守 屋 朋 伸
	教育研修課長 棚 橋 武 司
	教育管理課長 嶋 崎 敏 幸
<b>3 議事日程等</b>	
	報第2号、議第4号について、非公開とすることを決定
<b>4 会議録</b>	
	令和5年4月21日開催の定例臨時教育委員会の会議録を承認
<b>5 審議の概要</b>	
	別添のとおり

## 会 議 録

発言者	発言内容
<b>報第1号 教育に関する事務に係る予算（令和5年度5月補正）に対する意見について</b>	
教育総務課 教育総務長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、岐阜県知事から令和5年第2回臨時県議会の提出議案について意見を求められたため、異議ない旨を専決により回答したので報告し、その承認を諮るものである。</p> <p>教育委員会関係の5月補正歳出予算は、総額で1,364万4千円を増額するものであり、補正内容については2つある。1つめは、「県立学校における給食費支援」に係る補正である。原油や穀物を始めとした物価高騰の影響を踏まえ、県立特別支援学校及び定時制高等学校の学校給食費の増額分を支援すること。2つめは、「高校生等奨学給付金の加算」に係る補正である。教材費を含む学用品等に係る物価高騰の影響を踏まえ、非課税世帯等の奨学給付金を加算して支給すること。</p> <p>なお、これら補正予算については、教育委員会事務局からの要求に基づいた内容で編成されており、知事に対して異議のない旨、回答を行ったものである。</p>
竹中委員	例えば電気代が高騰するなど、この項目以外の物価高騰が起きた場合は、どのように処理されるのか。
教育総務課 教育総務長	資料に記載されていないものについては、令和5年度の当初予算の段階で、既に増額をして予算措置をしている。今回増額をさせていただいたのは、国が交付金を用いて支援をするという経済対策を打ち出してきたものに対応するものである。
教育長	報第1号について、挙手により採決する。
教育長	全員賛成により原案のとおり承認する。
<b>報第3号 令和6年度使用小・中学校用教科用図書の採択基準について</b>	
義務教育課 義務教育長	<p>前回の定例教育委員会において、資料に示す案について審議をいただき、教科用図書選定審議会に諮ることについて承認をいただいた。</p> <p>その後、4月24日月曜日に開催した「岐阜県教科用図書選定審議会」において、採択基準について審議いただき「適切である」という旨の答申をいただいた。</p> <p>これを受け、教育長専決により、令和6年度使用小中学校、特別支援学校の小中学校部を含む教科用図書の採択基準を決定した。このことについて、県内の各市町村教育委員会、各公立特別支援学校長、岐阜大学教育学部附属小中学校長並びに各私立の小中学校長及び中学校長に対し、令和5年4月26日付け義教第134号にて通知した。</p>
教育長	報第3号について、挙手により採決する。
教育長	全員賛成により原案のとおり承認する。
<b>議第1号 令和6年度県立高等学校の入学選抜における「県外募集実施校に係る入学選抜の選抜」について</b>	
高校教育課 高校教育長	<p>県外募集については、これまでも県立高校の活性化や魅力化の方策として、特色ある学科や全国レベルの部活動を募集分野として指定してきた。</p> <p>来年度入学生の入学者選抜においては、現行の学校に加え3つの学校または分野を指定したいと考えている。</p> <p>加納高校では、もう既に音楽科で募集を行っているが、新たに美術科においても募</p>

	<p>集しようと考えている。土岐商業高校ではウエイトリフティング部、中津商業高校ではスケート部で募集しようと考えている。</p> <p>この議案に了承いただければ、今後さらに募集学科や検査内容、選抜方法等について検討していきたいと考えている。</p>
竹 委 中 員	候補に挙げている部活動は、伝統的に強い部活であり、その流れの中で推挙しているのか。
高 校 教 育 課 長	県外募集を実施している学校では、特色ある教育を実施していたり、全国で活躍する活動を行っていたりしている。候補に挙げている部活動は、いずれも全国レベルで活躍しており、全国総体で優勝した経験もある。
打 江 委 員	入学試験において、他の生徒との違いはあるか。
高 校 教 育 課 長	県内に居住する中学生と同じように学力検査を受けて入学している。
竹 中 委 員	スポーツで入学したいと考えている県外生徒に対する配慮は何かあるか。
高 校 教 育 課 長	寮がある学校では入寮することになるが、寮がない学校においては、中学校の段階で丁寧に相談し、下宿などを紹介している。
竹 中 委 員	個人負担となるのか。やはり強くするためには保障することが必要ではないか。やりやすい状態になれば、さらに伸びる可能性がある。予算の兼ね合いで難しいことがあるかと思うが、検討してみる必要があるのではないか。
教 育 長	<p>寮がない学校の中には民間の下宿施設を紹介し、県外生徒のみならず、県内でも遠方から通う生徒への対応をしている。それに対して経済的な負担については意見として承りたい。</p> <p>さらに2点補足する。1つめは県外募集について。これまで団体競技がメインであったが、今回初めて個人競技を対象に加えた。2つめは募集定員について。例えば、加納高校の美術科では、毎年倍率が1倍を超える。県外の生徒が入学すると、県内の生徒が入学できなくなるという懸念があるが、県内の子供たちに対する入学定員とは別枠で募集するため、県民の学びの場をしっかりと確保することができている。</p>
教 育 長	議第1号について、挙手により採決する。
教 育 長	全員賛成により原案のとおり可決する。
<b>議第2号 令和6年度岐阜県立多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科の入学定員について</b>	
高 校 教 育 課 長	<p>専攻科とは、高等学校を卒業した方を対象にしたものである。高等学校を卒業した生徒が、多治見工業高等学校専攻科陶磁科学芸術科で2年間学んでいく。この入学定員について、来年度も今年度と同様に30人にしたいと考えている。</p> <p>県立高等学校本科の入学定員については、本来10月頃に本会議で諮るものではあるが、高校を卒業した方を対象とするものであることから、この度お諮りをしている。</p>
竹 中 委 員	例年どのぐらい応募があるのか。
高 校 教 育 課 長	近年30名を満たしておらず、一桁、10名程度といった状況である。

竹中委員	30名の定員を確保していく方向であるのか。
高校教育課長	高校段階よりも深い教育を行う場であり、地元の大事な専門科であるため、30名の定員を確保していきたい。また、在籍している生徒は一生懸命に勉学に励んでいると伺っている。こうした理由から、引き続き入学定員を維持したいと考えている。
竹中委員	多治見工業高等学校の専攻科は、特色があって大変よい。就職に有利になることはあるか。
高校教育課長	以前は専攻科から大学に編入することはできなかったが、制度が改正され認められるようになった。また、そのまま就職をする方もおり、そういう意味では高校と大学、短大との結節点という存在意義をもっているといえる。
打江委員	専攻科は、高校を卒業した直後の方のみならず、一般の方も入学することができるのか。「地場産業の担い手」という点において、とても大事な視点であることから伺いたい。
高校教育課長	社会人の方も入学することができる。
教育長	予算の関係上、例年定員数に満たないからといって定員数を削減することはない。また、「地場産業の担い手」という点にから、短大卒と同等に見られ、大学の3年生に編入できるようになったことは、生徒にとって大きなメリットになっている。
教育長	議第2号について、挙手により採決する。
教育長	全員賛成により原案のとおり可決する。
<b>議第3号 教育に関する事務に係る議案に対する意見について</b>	
特別支援教育課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、知事からの意見照会があったものに対し、県教育委員会において、異議なしと回答してよいか諮るもの。 県立特別支援学校においては、児童生徒の通学のためにスクールバスを運行している。この度、県が所有する大型バス3台の更新をしたい。更新においては、大型バス3台の取得予定金額が7000万円を超えることから、議会の議決を経ることが必要になる。大型バスの更新については購入から15年、または走行距離が30万キロを経過したバスを計画的に更新しているが、この度の3台についても、購入から15年以上が経過するバスの更新となる。 また、この度の取得においては、一般競争入札において調達を行い、令和5年4月13日入札。その結果、三菱ふそうトラック・バス株式会社が落札者となった。令和5年4月13日に相手方と仮契約を締結、履行期限は令和6年3月22日としている。 教育委員会としては、この度のスクールバス取得について、「異議なし」と回答すべきものと考えている。
竹中委員	いつ納車されるか。
特別支援教育課長	来年度4月1日からの運行ができるように、今年度内に納車してもらうことを確約している。
教育長	議第3号について、挙手により採決する。

教 育 長	全員賛成により原案のとおり可決する。
<b>事務局報告（その他）</b> <b>(1) 岐阜県における全国レベルの表彰について</b>	
教 育 総 務 課 長	<p>3月に行われた全国の選抜大会等で、優秀な成績を収めた生徒が全部で25名いる。入賞者を簡単に紹介する。</p> <p>ウズベキスタンで開催した「アジアジュニア・カデフェンシング選手権大会ジュニア女子フルーレ団体」で岐阜総合学園高校2年の長瀬さんが2位、同じく「ジュニア男子フルーレ団体」大垣南高校2年の高橋さんが4位に入賞した。長崎県で開催した「高等学校選抜フェンシング大会 学校対抗戦 男子エペ」では大垣南高校が3位、女子フルーレで総合学園高校が3位、女子サーブルで大垣南高校が3位に入賞した。</p> <p>次に、自転車競技では、大分県で開催した「全国高等学校選抜自転車競技大会 女子個人ロードレース」で岐阜第一高校2年の日吉さんが3位に入賞した。</p> <p>続いてボート競技では、静岡県で開催した「全国高等学校選抜ボート大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会 ローイング男子ダブルスカル」で加茂高校の加藤さん・成瀬さんペアが優勝した。同じく「女子舵手付きクォドルプル」で加茂高校の大津さん・兼松さん・瀨瀬さん・小林さん・鈴木さんが2位となった。</p> <p>続いて水球では、新潟県で開催した「全日本ジュニア水球競技選手権大会 男子」で岐阜選抜チームが3位入賞となった。</p> <p>体操競技では、静岡県で開催した「全国高等学校新体操選抜大会 男子リング」で済美高校2年の田中さんが2位となった。田中さんは同大会で、「男子スティック」2位、「男子ロープ」優勝、「男子クラブ」優勝、そして、「男子総合」で優勝した。</p> <p>また、同大会において、同じく済美高校1年の長瀬さんが「男子スティック」3位、「男子クラブ」3位に入賞した。</p> <p>鹿児島県で開催した「全国高校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップボクシング大会 女子ピン級」で岐阜工業高校1年の小川さん3位入賞した。</p> <p>福井県で開催した「全国ライフル射撃競技選抜大会 ビーム・ピストル立射60発競技(女子)」で済美高校2年の木藤さんが優勝した。同じく「60発競技(男子)」で済美高校2年が長屋さん2位、「10mエア・ライフル立射60発競技(男子)」で済美高校1年の横山さんが2位、同校の清水さんが3位となった。</p> <p>次に、福岡県で開催した「全国高等学校空手道選抜大会 女子団体組手3人制」で岐阜商業高校が3位に入賞した。</p> <p>続いて、石川県で開催した「全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会 男子67kg」で土岐商業高校1年 深萱さんが3位入賞、「男子81kg」で土岐商業高校2年の吉村さんが3位となった。</p> <p>最後に、静岡県で開催した「全日本少年春季軟式野球大会」で、赤坂・西部クラブが2位となった。</p>
<b>事務局報告（その他）</b> <b>(2) 令和5年度教育委員行事予定表について</b>	
教 育 総 務 課 長	<p>10月から11月にかけて、各高等学校及び特別支援学校の周年行事が非常に多くある。事前に各委員と予定を確認させていただき、それぞれお名前を入れさせていただいた。式典の詳細については、期日が近くなったら、別途、各委員宛に連絡をさせていただく。</p>
<b>報第2号 職員の表彰について（非公開案件）</b>	
<p>職員の表彰について諮り、承認された。</p> <p>本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	

**議第 4 号 教職員の懲戒処分について （非公開案件）**

教職員の懲戒処分について諮り、可決された。  
本件は、非公開案件であるため、会議録は別途作成。

**閉会**

15 時 30 分、閉会を宣言する。